大正九年十二月二十日　第三種郵便物認可

夕刊

新京日日新聞

定價　一部 金三錢　一箇月 金八十錢
郵稅　一箇月 金十五錢
新京永樂町四丁目一番地
發行所　新京日日新聞社
電話二三五二・二三〇〇番
發行人　十河榮忠
編輯人　松本男
印刷人　谷啓二郎

滿洲に於ける土地制度研究（三）

政府の方針と實施要綱

第三　地籍調査事業の具體的實行方法

一、地籍調査に關する基本法院の制度及其の要綱

地籍調査事業は國民の權利義務に極めて重大な關係があるから調査に先立つて之に必要な法令を制定公布して一般に其の要旨を徹底せねばならない。地籍調査に關する基本法規としては目下土地局が立案してゐる「地籍調査令」及び「同施細則」であるが本令は「土地局」が其の權限に依つて調內一般の土地に對する權利の調査を行ふと共に、地盤丈の量に依つて其の境界の査定を行ひ、之等の經濟等級を定めて地籍の審定をなすことを一般に知らしめることを目的とするものである。の內容は（一）（イ）地籍調査の意義及目的（ロ）地籍審定の範圍及順序形式（ハ）審査機關の權限決定の效力等を規定し（ニ）併せて土地の審査に對する「不服申出」の途を開き「高等土地審査委員會」との關係に關する事項を定むるの外（三）土地其のものを表示する「地目法」「面積法」等の統一事項（四）地籍に表示せらるべき地權及び其の範圍並に經濟價値に關する事項等に亘るものだから本令の制定は制度確立に關する幾多の基本的及政策的事項を決定する點に於て極めて必要なる意義を有つてゐる。

二、地籍に關する實施調査方法

地籍設定の爲にする土地の實地調査方法は（イ）準備調査（ロ）細部調査（ハ）特別調査及（ニ）經濟調査の四に分ける

イ、準備調査

準備調査は（一）縣、保安區、鄕村、屯及蒙古各旗各部落等の各行政區劃の調査を行ふ此の調査は將來村屯が最小からの地方行政の區域として獨立し得べきが經濟的考察を必要とするから、一般行政上最も重要な事項であるのみならず、一般地政上より云ふ時は地籍の一標準單位を決定するので本調査を完成する爲には繁雜極まる在來村屯の區域の上にも本其の名稱の上にも極めて廣汎なる範圍に亘る分合改廢を行ふ必要を見ることは云ふまでもない。

（二）村屯區劃の決定を了れば、各村屯の區域毎に地方の沿革、史實、習慣、特殊事情其の他に亘る概要の調査を行ひ更に各村屯內に於ける地籍申告の接受事務に行ふの外地權者の申告書作成並に申告書調製の指導監督、申告事項の整理地權者の權利調査等を行ふ、地權者の「土地局」に對する地權の申告は地權者自ら爲すべきであるが、混亂を耗さない樣に「準備調査員」は地方地權者の選出した總代を地權申告人と準備調査員との連絡機關に充て地權の申告を統制する

ロ、細部調査

細部調査は準備調査に依つて地權の種類土地の位置及其の權利認識の定つた土地に就いて（一）各「地段毎」に權利を檢證し、總ての地籍事項の確認を行ひ（二）實地に就いて境界を對照大量し、定式に據る地面の作製をなすのであつて要は地籍簿及地籍圖の原本を完成するのであります、細部調査は此の土地調査事業の基礎となり（土地局）の土地審定の原本を作ることを目的としてゐるから其の地籍事項の調査は特に精密にやらねばならぬ

ハ、經濟調査

經濟調査は地籍の調査と併行し又は特殊の必要に應じ各地段毎に特殊の經濟調査を行ふもので即ち（一）各地段毎に其の地力を計り、經濟等級を審定し（二）更にこに依りて村屯の富力乃至財政に對する負擔力其他各種經濟關係の根據を明かにする爲めに行ふ

二、特別調査

特別調査は一般の準備調査及細部調査によりかたい特殊地域に對する調査で大別して三地域に分つ

（一）都市又は城鎭
（二）林野、鑛山、山岳、沙崗河氣の潟灘等
（三）一般調査を施行してゐない地方特に別途の調査を必要とするもの

（三）實地調査機關の組織と系統

實地調査機關の單位は班であるが班を更に一般調査と特査の二班に分ち更に之を準備調査、細部調査、經濟調査の三股に細分し各班各股に長を置く、班は豫め設定せられた調査區域に配置し順次移轉せしめて次第に他の各調査區域に及し漸次に調査區域を擴張して全國に及ばさうといふ計畫である

各班の擔任すべき調査區域は概して各縣を單位とするが各班は其の調査區域に於て各縣長が兼任する支局長に隸屬し各省長の兼任する分局長は土地局長又は土地局出張所長の指揮監督の下に執行を缺事する仕組です、で實地調査機關の系統は圖示すれば次の樣になります

土地局長　總務處長　審査處長　測量處長
分局長（省）　支局長（縣）　實地調査班
一般查　準備查股　細部查股　經濟查股
特別查

四、地籍審査に關する機關及方法

地籍に關する實地調査の完全に行はれたる時は「土地局長」は地籍審定の措置を採り更に該審査を確定する手續を行ふ即ち

地籍原册及び地籍原圖を審査處長土地局長の手に依つて內部的に確認し更に總務處長は一定の期間外部に公示する手續をとります

は、籍再審委員會

地籍再審委員會は土地局とは別個に獨立して法律に依り設置せられる審査機關で專ら土地局の地籍審定に對する不服申立に對して再審を行ふ機關であります、其の委員は各部員特に司法部員を之に充て土地局員を幹事とし各委員間には事件に應じて主査を設けます、政府が土地制度の革新を行ふに當つて、かゝる機關を設置したることは私權の保護の上より見て當然と考へられるが、一面滿洲地方に於ける行政が古來專ら全く軍閥政權の私するところ、庶民悉くその威壓的專政に馴れ來つた點から見る時本機關を設けるが如きは却つて「濫訴の弊」を招致する樣になる虞はないが、此について政府では審査に對する不服の申立を容れることは甲に關する不服再審の如きは新國家が庶政悉く民衆以て基とする王道政治の趣旨を周知せしむる所以であると信じて敢て此の制度を設けたのである

農業振興と國庫增收を叫ぶ

昨日上院の豫算總會

（東京十七日發國通）貴族院の豫算總會は十七日午前十時二十五分開會、質疑に入り、

絲原武太郎氏　米穀統制法が實施せられゝば、農村に不利な米穀米價が現行法の基準となるか、又は別に米穀生產費の基礎を定められる意志ありや

後藤農相　現在の方法を踏襲せらるゝに於ては其まゝ實施し續けるか、或は改正するかは考慮中である

絲原氏　農業保險制度の必要は各方面から稱へられて居るが、當局は本議會に於て農業保險法を提出するか

農相　農業保險制度は多年研究して居るが本日當局としては財政上より直ちに具体化する事は出來ぬと思ふ

絲原氏　內地木材は外國木材の競爭に堪へ難い、木材關稅引上げを望む

農相　南洋材の輸入に適當の關稅をかける事は考慮中である

次いで

松本勝太郎氏　昨日本會議に於ける質疑に就き答辯を求め度いと燃料政策、製鐵事業、產金奬勵、農村振興の諸點を擧げ

藏相　公債償還の目的のため增稅するは相續稅に限るものでない、政府は此の產金奬勵を爲す考はない

中島商相　製鐵減增に就ては今の處供給充分と思ふ

農相　農村に對し副業の奬勵をなす事は其販路の點を考へねばならぬ、今後は副業品の生產費と、生產量及販賣等の統制を充分に保ちつゝ奬勵したい

拓相　朝鮮に於ける石炭液化事業は民間で現在行はれて居る、商營にする事については民間事業との關係を充分研究して居る、滿洲では產金の調査を調官でやつて居る

更に松本氏は豫算案の實質に入り八年度の豫算總額は未曾有の巨額で、公債は八十億に達する、此の難局の打開策は產業を盛にし、國庫の歲入を計る他に途はない、產業開發の大体方針につき首相の答辯を求む

首相　政府としても產業奬勵には總ての方面の施設を怠るもので無い

斯くして午前十一時九十六分休憩となる

政府提出の關稅改正案

（東京十七日發國通）關稅改正問題は當局者の反對等政治問題が絡んで政府も原案を提出すべきや否やを決し兼ねてゐたが最近左の程度のものを提出するに決定し、目下主稅局で準備を急いで居り、近日中關稅調査會に附議した上議會提案の運びとなる豫定である

一、アルミニユーム、染料、其他十品目即ち內地に於て生產せざるもの及び發達の見込みなきもの十品目につき從量稅附加稅を撤廢すること、砂糖、綿糸、人絹、パルプ等重要品目は再調査して來議會迄に成案すること、從つて本品は本會議には提出せず

一、南洋材、コンニヤク玉等の基礎稅率を引上ぐること

一、醫藥品の基礎稅率を引上ぐること

政府の米穀買上說

（東京十七日發國通）最近の米價安に對して農林省では政府所有米九十萬石の買替へを斷行し米穀貯藏奬勵金五百萬圓支附を省令で告示する說あるが米價は依然持直さず尚最低額を下廻る場合二百萬石買上げを爲すとの說行はれて居る

議會振肅案

廿日頃上院へ

（東京十七日發國通）衆議院各派の協同提案たる議會振肅案は、衆議院で審議可決の上廿一日頃貴族院に回付される豫定である、貴族院は廿四日の本會議に上程、衆議院同樣十八名の委員に附託となる模樣

右の外議會召集期を四十日から廿日に短縮し副議長の任命を親任式でなし、親任待遇とする事には貴族院令から改正の要あり、面倒な問題で相當議論沸騰する模樣で、兩院協議會となるか、或は會期逼迫の理由により審議未了となるか、前途は樂觀を許されない

二月中の小賣物價指數

（東京十七日發國通）二月の小賣物價指數總平均一五、八で前月より一分六厘低落逆轉して居る

怪人凱歌（百五十）

（舞臺上演 映畫化）須藤鐘一　（畫）瀧秋方

罪惡（二）

『以前、此家に家扶をしてゐた三木貞介が來て、確かに御前の血を引いた子供が今、生きてゐるといふのです』

といふ瞬子未亡人の顏は緊張する。

『あッ、あの頑固爺いですか』と天野は恐をくゝッたやうに云つたが、心は穩かでない。

『今その所在はちよつと分らないけれど、遺子がゐる事は事實だから、遺言狀に從つて、どうか探し出して財產を分けてあげてくれといふのです』

『ハッハヽヽヽ、そんなことですか。わたしは父本人が乘りこんで來たのかと思ひましたが、それぢや、まだ影を現はした譯ではありませんな。乾度そりやア何かの騙法師ですよ。御心配は御無用です』

『でも、若し自分が其れだといふものが出て來たら、どうしますか？』

『恐らく三木老人の後には、性の惡い奴がついてゐて、あの遺言狀の文句にからんで、一芝居打たうといふのでせう。つまらぬイタヅラですよ』

天野は、事もなげにいつた。初めは、その遺子なるお蔭が、既に名乘つて出たのかと思つて、さすがに少々慌てたのであるが、まだそこまでは發展してゐない事を知つてほつとした。

そして、何は兎もあれ、今日の訪問の目的から、早く未亡人の不安を取り除く必要を感じたので一顧にも價しない事のやうに云つてのけたのである。

『然し三木だつて滿更、根も葉もないことを云つて來る譯はないぢやありませんか？』

——瞬子未亡人は半信半疑である。

『いや、寧ろ疑ひの方が、ずつと勝つてゐるので、萬一そんなものゝ飛び出した時の事を、いろ〳〵に想像すると、居ても立つてもゐられぬやうな焦燥に驅り立てられるのだつた。

『あの爺いさん、頑固一徹ですが、根がお人好しですからな。自分でそんな大それた事を企らむ性ではありませんから、きつと黑幕に惡黨が控へてゐるにちがひありません。ようございます。私が早速取り調べて、化物の正體を見あはしてお目にかけます』と、天野は何處までも、そんな事實はありようがないと、如何にも自信ありげな口ぶり。

そこで、瞬子未亡人の心も稍落ちついて、

『天野さんに、首尾よく大岡越前守の大役が勤まるかしら。——何しろどうかすると、こちらが天一坊になりかねないお方なんだからね』

と、半ば冗談らしく云ふのであつた。

その何氣なく未亡人の云つた言葉が、妙に天野の胸にピンと響いた。

『冗談いつちやいけません。私は山路家のためになら、水火も潜る覺悟です。越前守でも伊豆守でもきつと勤めおほせて御覽に入れますよ』

『さうですか、それだと大惡黨もしいけれど……』

『それとも、どうしても信用が出來ないとおつしやるのですか』と天野は少し不平らしく頰をふくらました。

『といふ譯でもないけれど、いつぞやのやうに、隨分惡黨を御自慢のお方だからね』と、未亡人は皮肉をいふ。

『なに、惡に强ければ、善にも强いといふぢやありませんか。蛇の道はヘビ、惡人の穴は、惡人でなくちや破れませんからな。その點で、私を信じて下さい』

『あなたの論法で行くと、大岡越前守は無類の大惡黨だつたといふことになりますわね』

『そりやア確にさうですよ。若し越前守が墮落したら、すばらしい惡黨になつたにちがひありません。惡人の心理をあんなにまで、よく吞みこんでゐて、ビシ〳〵と判斷を下すのは、どうしても惡人と共通の、いや、それ以上の心をもたねば出來ない藝當ですからな』

と、天野は、調子に乘つて、飛んでもない手前味噌をならべる。

勸告案實行不能に 今更聯盟たぢろく

新な委員會を設けるか又は 再び理事會に移す

「ジュネーヴ十七日發國通」總會が日本の反對を受け、勸告手段等の成立全く不可能で勸告が全然實行性を失ふに至る場合に鑑み聯盟側では早くも[illegible]してゐる、右に就て

一、規約第三條に依り總會を繼續させ、新たに委員會を設け情勢を監視する

二、第十一條に依り再び理事會の問題として處理させる

[illegible]ば出來ない事なので、聯盟側では折角勸告を作つて見[illegible]手段には事實上、到底移れないので聯盟は今や全く進退[illegible]日本としては此の規約上の不備を利用し結局脫退に至[illegible]はれるに至つた、然し聯盟では兎も角も第三條による[illegible]小國側で種々畫策中だ、總會の當日に於ては熱河問題[illegible]うが今の所、わからないと事務局方面では言つてゐる

こと、其他の情勢に刺戟され、聯盟規約強化の必要を痛感するに至つた爲めである

一、聯盟規約嚴正適用論一點張りで、徹頭徹尾反日態度を續けて來た小國側は勿論

脫退の場合の我陳述書要項

「極東の現實を無視する」

「東京十七日發國通」[illegible]提出すべき陳述書は外務[illegible]るが、陳述書は勸告付屬[illegible]摘及駁し我意見書を基礎[illegible]

一、[illegible]

一、[illegible]に發達して居る

一、[illegible]するなら聯盟脫退の外な[illegible]

日本の脫退を小國大成功となす

現約の確乎適用を望んで 日本には怨恨なし

「ジュネーヴ十六日國通」聯盟方面では日本の聯盟脫退は最早や避け難いとの印象が強くなり、一般に憂慮の色を以て成行きを注視して居る、事茲に至らしめた各國の日本に對する態度の眞の動機をなして居るものは、決して日支問題そのものに對する認識判斷ではなく、各々夫々の自國本位の利害的立場に基くものである事は、今や漸く一般に知れ亘るに至つた、即ち

一、チエツコ代表ベネシユ外相、スイス代表モツタ大統領、スペイン代表マダリアガ氏スエーデン代表ウンデン氏は聯盟を國際政治に於ける眞の勢力たらしめ、之を以て小國が隣邦から攻撃を受けた場合の防衛の盾たらしめんとする意圖に出たものである。換言すれば小國側は日本關係と類似の事態を歐洲に想定し、日支紛爭事件によつて聯盟の行動の確固たる先例を樹立せんとしてゐるのである

一、フランスが最近突如日本に不利な立場を採るに至つたのは、ドイツに於てヒツトラー氏が政權を掌握した[illegible]

外人の眼に「映じた滿洲國」(三)

滿洲は明に傀儡に非ず

首都警察廳 堂脇俊盛譯

傀儡とは誠によく云つたもので意を得た言葉である。滿洲自由國に反對するものは獨逸に於けるナチスかその像徵に巧にである如く彼等の標語は巧なものである。滿洲は傀儡國で他の一口に這入り利な國に思へるが事實とうしてそうではないのである。滿洲の獨立性は日本人の頭で割り出したものでもなかつたし又計畫した新國家を他の奴隷國とすると云ふのではないのである吾々は日本政府の內部會議は知るよしもないが一九三一年九月から滿洲に於ける進展に就ては密切な關係を有して居るので隣人の如く此の問題に就いては共によく一部始終を判斷し得るのである。獨立計畫が支那及滿洲の指導政治家達に依つて企圖せられたと云ふのは內部歷史であつて明に復辟運動の成長に外ならなかつたのである

日本軍部が滿洲に於ける防備問題を熟考し續け日本政治家が次に爲すべき事項を吟味し續けて居る間に復辟運動家連は天津に、大連に或は奉天に孜々として運動を續けて居たのである

日本軍に近づく前に彼等は[illegible]なしに祕密會議を開いたのである。それから間もなく奉天は朝鮮人をも加へた復辟[illegible]首領家達の本部と云ふた處になつて了つた。日本は彼等君主擁立家達が其の運動宣言をなす迄は事件の進展を知らなかつたのである。彼等は奉天在住の支那人で張作霖元帥の友人であつた王未亡人の私宅に於て運動の計畫を建てたのである。初め宣統帝の皇族及其の部下の官吏達は日本の了解を受けずに急に改變を始めようと祕密會議で決定して居たのである。

彼等は清朝發祥の地奉天で滿洲家再興を宣言する事を計畫して居た。忠臣達が之を知つた時には日本は單は張學良の軍隊擊破に從事して居たのみで此の結果彼學良の軍隊は續々地帶を後退して了つたのである。日本は遂に事件の進展を感知するに至つた。彼等の計畫の疎漏、勤王家達の協調と云つたものが余りにひどく缺けて居たので計畫は露見せない譯に行かなくなつたのである

勿論三人の皇孫と宣統及光緒の皇族が現れて帝位の人選に關して失敗があつたのである

日本は該運動の鎮壓を直ちには爲さなかつた。又彼等が希望して居る處の滿洲將來の平和及び諸種利權の保護と云つたものに就いても爲す術を知らなかつたのである。吾人が親しく王黨員達から聞いた事より判斷するに日本が反對する重要點は當時民主國に轉向せんとする公衆の努力が明かに缺乏して居た事であつて此の運動には充分の考慮を拂はなければならなかつたのである。日本は人々が王國を主張して居る事を信じて居なかつたのである、君主運動は立憲君主運動團體として成長し此し之又祕密裏に運動を始めたのである。此等團體も又「滿洲國」の君主を切望したのであるが英國式の立憲君主制度に倣ふ事に一寸變更したのである。

王道政府運動家達が自己計畫の何等同情價値を有せず又其の運動が余りに急激にして無効なる事を認め出した時に彼等は立憲君主運動家達と合流し此の合流一致よりして今、吾人の見る如き獨立政府が芽生へ出したのである。專政君主運動家達は宣統帝を政府の一重大役割俳優に加へる事及重要君主の位置に加える事を強要して彼等の書く夢國の完成する好期を待つて居たのである。是に引換へ立憲君主制運動家達は既に宣言した元主を戴き民主政体の政府を最初より計畫して彼等運動の理想的基礎として居たのである。

軍が援助の必要

獨立運動は以上述べたる狀態に在達したけれども日本の援助なしには何とも其の爲す術を知らずして師の差し手に窮するの有樣に達した。

支那在[illegible]の政變にそる[illegible]買收、誘惑等の手は其の門戶を塞されて了つて居た。日本軍以外には軍隊は無かつたのである。數人の日本人を會議に參加を許容――此等の人々の援助に依つて現在完成して居る理想的獨立計畫方針に進んで居るのであるが――斯くするより以外には道はなかつたのである。

此の日本參加將校に對しては日本は默認を與へて居る。數多くの初期の事業は從來の軍閥巨頭に接近す方法に依つて爲されなければならなかつた。それ等巨頭連の或る者は日本軍の監視下にあつた。全計畫の進展には五ケ月を要し終局に於て武力干與以外は何物にも無干涉を要求して此の計畫が日本權力支配下に確供された時に滿洲問題の理想的解決の外見は成り上つたのである。

日本と獨立運動家達との間に於ける最後的了解[illegible]に至つては吾人は何等知るよしもないが只條約妨害を是以上爲さざる事日本軍は匪賊に對し軍隊力を行使して日本の安全保障を認容する事等を此の初期政府は認容せる事のみは推察され得るのである。

實の匪賊討伐及國境保全政策は新政府の喜び迎える處のものであつた。

新政府は國家組織の頭腦を缺く事を自認して居た。新國家の創設に當つて援助の必要を感じて居たが此の要求を日本が引受けたのである。

滿洲政府は愈々その產聲を擧げた。

新國民は滿洲國軍事と云ふ點に於ては、突然的政變會議に依つて日本軍隊に保護せらるる條件を附與しなければならなかつた。日本には正當な解決が與へられ滿洲國人には先づ第一に同種民族を包含する一國成立の好期が與へられたのである

陸軍の高等官全部 脫退の意見一致

「東京十七日發國通」陸軍省參謀本部高等官全部は陸軍省に參集して聯盟及びヨーロッパ通たる本間大佐から

一、聯盟を即時脫退すべし

一、脫退から來る十六條適用即ち武力壓迫經濟封鎖はいひ易く行ひ難き問題で、行はれても爲替下落、金融業者不振の程度のもので、敢て憂ふるに足らず

一、南洋委任統治も實際上法理上日本は管理すべきもの

との意見を聽取し、滿場一致可決、更に脫退の當然の結果軍縮全權を引揚ぐ可きか、縮少して權威なきものとすべきか、を討議し、徒らに全部引揚ぐる事は聯盟側から乘ぜらるる隙れ無きにしもあらずとの意見もあつたが後者を選び暫く樣を見るに決定した

重臣會議反對說

政府部內にも起る

「東京十七日發國通」內田外相は午後二時半參內勸告案內容を陛下に上奏し三時半退出した、四時四十五分閣議に臨んだが重大問題の審議なるを以つて愼重討議を要し散會晚くなる模樣、屢々傳へられた重臣會議を開くや否や首相の意向は不明であるが、政府部內には直接責任のない地位に在る者に斯かる重大問題を相談するは立憲政治の原則に非ずとの說あり旁々たとへ重臣會議が開かれるとも報告に止まるであらうとの論もある

脫退の時期は三月中旬頃か

手續に關する外務省議

「東京十八日發國通」二十一日の總會を前に外務省では聯盟脫退の時期と諸方策を次官室で谷亞細亞局長、白鳥情報部長外各首腦部軍部側から永田少將、鈴木中佐等參集して協議の結果左の如く意見の一致を見た

一、總會終了の即日又は翌日三代表にジュネーヴ引揚げの歸國命令を發し是と同時に聯盟に批判的聲明書を發表する

一、勸告附報告書の有效成立を通告し來つた場合は絕對拒絕を聯盟批判の反對通告を突張り通す

一、三代表の歸國後報告を待つて改めて廟議を決定し重臣會議樞府諮詢の手續をとり其上で脫退通告をなし脫退聲明は三月中旬と觀測されてゐる

聯盟總會の議題

二十一日開會される

「ジュネーヴ十七日國通」二十一日午後三時より開會される聯盟總會當日の議題は左の如く決定した

一、日支紛爭事件

一、辭職したナンセン記念避難民國際事務局長マツクス、フーベル後任任命

而して後者は極めて簡單に片付き日支紛爭事件に關しては聯盟史上茲に空前の白熱的論戰が展開されるものと見られる

總會を前に

松岡全權、日本に放送 國民に決意を表明

「ジュネーヴ十七日發國通」二十一日の總會を前にして松岡氏は日本代表部が今日迄執つた態度を說明し、日本國民に決意を表明する爲二十日午後十時半より聯盟放送局から日本へ放送するに決定した

滿洲國代表も聯盟を引き揚ぐ

近く重大聲明を發せん

滿洲國政府に於ては日本の聯盟脫退、ジュネーヴ引揚げと共に滿洲國代表をも引揚げしむることに決定し、既に訓令を在ジュネーヴ滿洲國代表ブロンソン、レー氏、陸軍中將丁士源氏、エドワーヅ氏に對し發してゐるが、同時に滿洲國政府に於ては代表引揚げと共に日本の脫退後に於ける東洋情勢に適せしたる聲明を發し滿洲國の行くべき軌道を明示することになつてゐる、而して聲明要項は

一、關稅障壁の撤廢

一、人種差別待遇の廢止

一、アジア民族解放大アジア主義の徹底化

のラインに副ふものと見られてゐる

滿洲國にとり

聯盟の存在は無用 日本の脫退は當然

脫退に關し滿洲國の意見

日本が正式に聯盟から脫退する旨十七日の閣議で決定したとの新聞電報に基き、滿洲國外交部では左の如き意向を漏らした

滿洲國にとつて聯盟の存在は、聯盟が現在の動向を保つ限り無用なのである滿洲問題を利用して歐米が東洋に喰込まんとした腹の底はあまりに明白である、滿洲國としてはこんな不純な聯盟の策動により東洋を攪亂させるより、日本が脫退したた方を希望して居るのであつて、東洋の將來、亞細亞民族としての見地からしても日本の脫退は當然である、更らに東洋民族の結束を要求すべく、此際滿洲國は勿論アジア各國はアジアを維持するため當然結合し、當然と區別されたる、歐、米のブロツクに對し、あくまで東洋の東洋たるの所以を理解せしめ、世界協調の大義に基き、方策をとらねばならぬ、同時に滿洲國は愈々其國內整備を充實し、健全なる國家的發展を遂げなければならない

最初からの豫定

帝國大使館の意見

十七日の閣議に於て帝國政府は正式に聯盟より脫退する旨決議したとの新聞電報に關し在滿洲帝國大使館では未だ本省よりの公電に接しない事を前提としてそれが事實だとすれば誠に面白い事だとスポークスマンは左の如く語つた

脫退は結局最初から豫定してゐた事實が大詰めに來まつた丈けで何も驚くには當らない、大体聯盟が抱く利己的して不純な見解と、日本が抱く正義の立場とは根本的に相違してゐるのだから、日本は東洋に歸る方が尚互のためである、日本の聯盟脫退は歐洲に引込み聯盟の世界政局に及ぼす影響は實に大なるものがあらう、世界列強の活動の分野を其の民族、其の文化から見て東洋、米大陸、歐洲の三大ブロツクに區分するの必要なる事は、永年識者によつて唱へられて居た所であるが、今回愈々其の第一步を乘出す事となつたのは實に快心の至りである

世界文明は茲に新しい方向に出直すことになるので、從來の利己的な紛爭が解消され誠に淸々した感じがする、要は滿洲國が發展して立派になる[illegible]いので、日本としてはあくまで支援し、東洋の先導國として[illegible]ける大國民の決心が必要である

鈴木總裁の入閣を齋藤首相懇請

政界の歸趨を明示か

「東京十八日發國通」鈴木政友會總裁は首相を訪ひ聯盟の狀勢並に經過を聽取したが、その際現下內外の情勢にも痛を重ねつゝある首相は、鈴木總裁に赤誠を披瀝し後援助力を懇請する處あり、また進んで高橋藏相は三月六日迄には明年度豫算案も成立するのでその機會を待つて辭任し度き內意を有してゐるが自分としては議會終了後は責任を盡したい考だから藏相の後任には[illegible]內相を煩はし、山本內相の後任は閣下の御出馬を懇請して止まないとの重要意見を述べた、鈴木總裁は事餘りに重大なるを以て[illegible]考慮する旨を述べて辭去したが未だ回答をなしてゐない、然し乍ら議會終了後に於いて首相が桂冠すべき事は今や各般の事情に照らし明瞭だから、若し鈴木總裁が現內閣に內相として入閣實現する場合、政局の歸趨は自らこゝに定まるものとして結果頗る重大視されてゐる

大使館設宴

新京大使館では十七日午後六時から料亭千鳥に新京日本新聞通信記者協會加盟の新聞通信社代表者三十余名を招待晚餐會を開き主人側を代表して大使館の栗原正氏が大使[illegible]事務多端で懇親宴を[illegible]なかつたと簡單な挨拶[illegible]之に對し協會幹事[illegible]報社長謝辭を述べ開[illegible]歡談九時すぎ散會し[illegible]

人事往來

▲林總務局長 二十日來京の豫定

▲志波少佐(新京兵站) 十七日午後十時奉[illegible]

▲王靜修氏(軍政部次[illegible]) 十七日午後七時五十[illegible]

▲赤澤中佐(關東憲[illegible]) 十七日午後四[illegible]ハルビンへ

▲李文龍氏(吉林鐵[illegible]第二支隊長) 十七[illegible]時五十分來京

▲坂本憲兵中佐([illegible]) 十八日午[illegible]

▲宇多田中佐(野砲[illegible]) 十八日午前八時[illegible]

▲泉滿洲里領事 十八[illegible]京の豫定

▲田中武雄氏(朝鮮[illegible]事課長) 今朝飛行機來京中央ホテル[illegible]

▲[illegible]商同長代理加藤[illegible]日ハルビン出張[illegible]の筈

日本が脫退した場合、米國が聯盟に接近するの可能性ありと見て、一部では米國は一九二五年以前に聯盟に加入するだらうとさへ豫言して居る

聯盟を此處まで追ひつめた事を大成功となし、喝采して居るが、之等の小國とて決して日本に怨恨を抱き、支那に友誼を感じて居る譯ではなく、只聯盟規約に對する眞爭の強制的解決に對する眞の武器とする事を熱望し、規約一點張りで意志を通さんとするものである、這は何等極東に直接利害を有せず、只聯盟の判決を強制受諾せしめる權威を確立するに至るべき事を希望するものである

一、最後に聯盟國中の多數は[illegible]

支那の抗日軍配備
學良、作相を主班に
北支の全軍を出動せしむ
軍費は二千萬圓

【天津十七日發國通】熱河問題により日支間の空氣頓に緊張せる折柄、過般來宋子文の北上せるあり、蔣派各將領を召致し連日對策を考究中であつたが、愈々軍の編成、兵站輸送、戰時外交さ大規模の抗日戰備を整へるに至つた、即ち

抗日第一縱團軍
總司令 張學良
副司令 韓復榘
總參謀長 戢翼翹
第一路軍總指揮 于學忠
第二路軍總指揮 宋哲元
第三路軍總指揮 商震
第四路軍總指揮 王樹常
第五路軍總指揮 萬福麟

第二縱團軍
總司令 張作相
副司令 湯玉麟
總參謀長 榮臻
第一路軍總指揮 孫殿英
第二路軍總指揮 高維嶽
第三路軍總指揮 湯玉麟
第四路軍總指揮 劉振輝

尚軍費は二千萬元を河北に於て徵收し、列國の權益複雜せる北支那の軍事外交には胡若愚、朱光沐が之に當ることさなつたが、之に伴ひ軍の配備上にも多少の異動が豫想され北支那の空氣は再び異常なる緊張を示して來た

張作相、湯に熱河進軍を通告

【奉天十七日發國通】張作相は熱河方面の總司令に就任を受諾し熱河進軍を準備するさ共に湯玉麟に對し「余は近く貴下を應援の爲め熱河に向ふ、それまで熱河を死守すべし」さ激勵電報を發した、從來熱河僞勇軍に對する軍費兵器は僞勇軍後援會の手を經てなされてゐたが、最近北平軍事委員會か直接支給するさとになつたので熱河僞勇軍後援會はこれに憤慨し反對してゐる、その理由は軍費の上前をはねることが出來なくなつた爲めである

學良依然 寶物を運ぶ

【奉天十七日發國通】張學良は依然北平から寶物を荷造して上海方面に運び出しつゝあるが、人民に對しては、右は日本軍に掠奪されるのを防ぐために洛陽、開封方面に運んでゐるのださ稱してゐる

開灤炭坑 輸送增加要望

開灤炭坑當局は北寧線による支那側軍需輸送の爲最近採炭量を加減する必要に迫られて居るが、同炭坑は採炭を停止する時は坑下に水が溜り、廢坑さなるを以て支那側に對し北寧線沿線で戰鬪回避を要請し、又天津發電所當局も開灤炭輸送力增加方を河北省主席に請願した

宋子文の北上 實は軍費徵達

宋子文北上の目的は在北平外交團との外交交渉にある如く傳へるも其實軍費徵達の爲で學良さ協議の上總額二千萬元で北平故宮殿の國寶を抵下げ飛行機及武器、彈藥を購入せんさする意見であるが、[illegible]してゐる、一方宋子文は連日財政會議を開き又銀行團さ協議して平津地方で約一千萬元の公債發行を強要して居る、併し銀行團はその半額以上は應じ難しさ回答した、なほ[illegible]作業にも公債一百萬元の發行を要求した

熱河問題で 政府近く聲明書發表

【東京十七日發國通】聯盟が十四日附コムミユニケにて熱河問題を警告し勸告案を用意して熱河討伐を新な戰爭行爲さ認めんさするの態度に鑑み

一、熱河討伐は滿洲國內の警察行爲である、日本軍の協力は議定書による正當行爲である

一、從つて熱河討伐は聯盟其他第三國の容喙を受くべき筋合のものでないさ

第四區兒童 聯合体操會終る

敎育研究會第一部主催の第四區兒童聯合体操會は十八日午前九時室町小學校で開催、四平街小學校より三十八名、公主嶺小學校より三十六名の選手參加し盛大であつた

吉林滿鐵事務所 長更迭

滿鐵は吉林事務所長の更迭を本日左の通り發表した

吉林事務所長 濱田有一 鐵道部付を命ず

上海事務所員 野中時雄 吉林事務所長を命ず

伍朝樞 外交委員長に

【上海十八日發國通】最近歸國した伍朝樞は外交委員會委員長に任命された

李烈鈞 南京に返り咲き

【上海十八日發國通】久しく上海にあつた馮玉祥派の領袖李烈鈞は蔣介石の招請に應じ今朝南京に赴いたが、近く參謀總長又は國防委員會の要職に就く筈、これにより蔣馮の關係は益々密接の度を加へ馮の南下も近しさ噂されてゐる

下宿、飲食店の値上げ 斷然罷りならぬ
時機を見て下げさせる考へ 新京署保安係の意嚮

最近市內飲食店、宿屋業並に下宿屋業者か現在の狀態では立ちゆかず廢業するさして種々の方法を弄し、料金値上を斷行する意向を洩してゐるが、實際においては正反對で殊に下宿業者においては警察當局の指定料金を無視し、違反してゐるものも多く、又飲食店にしても、もりソバ、カケソバの如くは從來より量において少ないことは事實だそれにかゝはらず物價の騰貴を口にして値上するなどはもつての外である、さ一般が主張してゐる、右に就き新京署保安門田警部補は語る

既に旅館組合が全國各地に比し宿泊料金が安いから値上して吳れ、などさ嘆願してゐる、又下宿屋、飲食店等も値上の聲を立ててゐるが當局さしては一般の現狀から見て新京の旅館並に飲食店、下宿屋の料金が他に比し安いさは思はず、かへつて高い、値上などさはもつての外だ、時によれば値下を斷行するかもしれない、調査をしてゐるさ當局の指定を無視し暴利を貪つてゐるものもあるらしい、これらに對しては次第徹底的に處罰する考へだ

東北軍航空隊長は アメリカ人

東北軍航空隊は最近永平に飛行場を設備し米國から購入した飛行機十數台を格納してゐる、飛行士は支那人十餘名で隊長は米人スチーブンスンその他白人數名か敎官さして其の下に居る

執政御令妹 ロンドンで御安産

【ロンドン十六日發國通】溥儀執政令妹鄭夫人は十六日ロンドン大學支那語敎授フレミング博士邸で女兒を御安産された御母子さも至つて御健全にて博士邸に歡喜の聲が溢つてゐる

驛の待合で 盗難 洗面中洋服のポケツトから

ハルビン寶買街六十番地天理敎布敎師小原正郎方岩間信次郎か十七日午前七時四十分頃新京驛洗面所で外套洋服を脱ぎ洗面中何者かに洋服のポケツトから財布一個、現大洋二十一圓六十錢、朝鮮銀行券一圓一枚を窃取されてゐるを發見新京署に屆出た

今年の徵兵檢査 五月から九月十日迄

【東京十七日發國通】事變のため本年の徵兵檢査は五月一日より九月十日までの間に於て實施せらるゝ事さなり、明十八日之に關し陸軍省令が公布される事さなつた

內地鮮滿間の スピードアップ 四月一日から實施

滿鐵では日本內地さ滿洲さの關係益々緊密の度を加へるさ共に新京、東京間の旅行者激增に鑑みさきに新京、東京間のスピードアップを計畫し着々準備を進めてゐたが、その第一歩さして四月一日より奉天驛の列車發着時間を次の如く變更し各列車さの聯絡の便利を計る事さ決定した

奉天發 新著
午前九時(六列車) 午前七時(二列車)
午後三時三十分(八列車) 午後十時四十分(六列車)
午後十一時(二列車) 午後十一時(四列車)

奉天着 新發
午後一時(七列車) 午後二時十分(五列車)
午前七時卅五分(十七列車) 午前六時(三列車)
新に午後十時五十分設定

大連婦人聯合會 佳木斯移民團を慰問

佳木斯移民團の將來に對しては同胞が均しく大なる關心さ期待をもつてゐるが、最近大連婦人聯合會では同移民團に對し煙草、菓子、雜誌其他の娛樂品を取揃へて移民團慰問の爲に贈呈するさ大連農事協會を通じ永井民政署長の下に申出た

僅かな給料を割いて小學校へ贈る
感心な初年兵の美擧

去る一月二十日步兵第〇聯隊に入營した步兵二等兵茂木信(詳細不明)は一月二十九日滿洲派遣を被命出征途次山口縣玖珂郡柳井驛通過の際この寒空にもまけず多數の學生兒童を初め官民有志の熱誠こめた見送にいたく感激し僅かの給料から得た一圓五十錢を二月三日柳井小學校長宛に「これは些少で眞にお恥かしいが奬學資金の一部に」さ感謝さ共に送附した同校では現世に稀に見るその模範行爲に感泣し、直に全校生徒に其の旨を通知するさ共に永久に記念すべく方法について考究中である

正義團の誓盃式 二十一日に決行
第二支部は工業區に

大滿洲正義團では十六日新入團者の宣誓盃式を擧行する筈であつたが都合により延期さなり、更に來る二十一日午後一時奉天城內警務廳大講堂に於て約七百名の滿洲人團員の入團式を催す事に決定した、此の式は演壇上神前に於て酒井主盟さ親子の盃を交し、正義の實踐躬行民族和平、王道盡忠の同團綱領遵奉を神誓するものであつて日本惟神の精神さ滿洲人の風習を酌み入れ森嚴の氣堂に充ち滿つ裡に執り行はれるものである、猶同團では十八日午後一時第二區支部の創立式を小林秘書、矢野少佐、北澤部長等出席市內工業區二馬路北裕春棧北、萬興永舊社で擧行し約百名の支部團員が集り支部長には魏鴻儒氏が任命された

追想 酸鼻を極めたる尼港事件實相(一)
豫備步兵軍曹 渡邊辰次郎

酸鼻を極めたる尼港慘虐の實相 渡邊辰次郎述

一、第十四師團兵の駐剳

大正八年五月第十四師團の石川大隊長は二個中隊の將卒さ機關銃一銃を率ひて尼港に至り是迄駐剳してゐた第十二師團の將卒さ交替した、其の頃の尼港は到つて平穩であつたが十一月より黑龍江上流に於てパルチザンが表はれ其の討伐に向つた白軍は却つて退敗する事さなり九年一月頃にはパルチザンは遂にマガ地方に出沒することもなつたパルチザンは行く行く丁を強制的に徵召して進むのであるから彼等の過ぎたる跡には青年及壯年の影を見ざると云ふ狀態であつた

二、パルチザンの尼港包圍

パ軍は一月中旬より尼港を北方より包圍し尼港より約四里隔てたるチヌイラフ要塞を包擊し初めた、そこで該要塞の司令官は我軍に向つて頻りに援兵を請ふたので我が軍は一月八日後藤大尉に一部隊を與へて其の救援に赴かしめた、然るに其の當時は寒氣烈しく我軍の防寒具は殆んさ役に立たない位であつた

所にある通信隊は敵の砲彈に依つて無線電信の亂暴を破壞された、通信兵は二月七日午前二時敵の重圍を衝いて本部に合したさ尼港を攻擊した我が無線電信二月六日からパルチザンは人機關銃二銃である隊のみであつたが之れに反して赤軍は步兵三百人騎兵五十さなつた、其の時の兵力は味方は白軍五十人外に後藤大尉使を送つて安協を我軍に申込んで來たが二十六日から敵軍は甚だ優勢になつてチヌイラフの要塞は敵の手に落ちる事で市民の心は最早拾收する事の出來ない樣な騷であつた港にも內應する者があつたのに引揚げたが其の時は既に尼を得ずして一月二十二日尼港勢さなつたから我が軍は已む

三、彼我の安協成る

一月廿三日パルチザンは軍使を送つて安協を我軍に申込んで來たが二十六日から敵軍は市中に入り山田旅團長の命令さて我が軍は是に應じて二十四日には尼港公園で彼我の大祝宴會を催した

四、目も當てられぬ暴狀

二十八日午後五時を以て全く戰鬪行爲を中止すべく夫れ迄は休戰狀態さなつた然るに此の安協は我が軍が敵の爲に欺れたのであつた

パルチザンは安協の成立すると同時に市中の有產階級の人々や官吏を慘殺し頗る蠻行を開始した、例へば裸体にして二頭の馬にくくり付け馬を鞭して体を引き裂いたり手足を振り向ふの壁に叩き付け等した

然るに我軍は安協の條件を守りて是に干渉せず居留民の保護にのみ任じて居たが善良なる露國民此の時救ひの嘆願に來るものが甚だ多かつた

赤露の食糧缺乏で 各地に暴動起る
軍隊にも不平不滿の聲

【ハイラル十七日發國通】最近蘇聯各地に於ける物資、就中食料の不足は極度に達し、各地で、之に基因する騷動勃發し居る事は確實で露領在來する露國人の語る所によれば[illegible]へ招きつつあるものの如く、赤露の國情に何等かの變化を來すにはやゝさ見られて居る

現在農民の食糧支給に對しソヴエート飲糧委員は之に應ずるを得ず、兄弟が飢餓に陷るに拘らず食糧を與へざるは何故か」さ迫り、遂に官憲さ衝突死傷を來すに至つたのはチタ、イルクーツク等極東の諸都市のみならず、モスクワにても勃發して居るが茲に注意すべきは赤軍中にも食糧缺乏に不平不滿を言ひ出したことである

蘇滿國境アバカイ東方の住民は、四日に僅に黑パン一斤の給與あるのみで、馬肉を常食さし滿洲國側に逃亡する者が多いが、國境監視のゲ・ペ・ウに發見され銃殺される者多く、全くの生地獄を呈して居る、翻つて是等の事實を見るさき共產主義さ、王道主義さ何れが可なるかをマザマザさ民衆に敎へるであらう

神戸ゴムが 滿洲進出の段取り
分工場をも新設計畫

【神戸特信】輝かしい神戸ゴム工業界……特に林田方面のゴム工業の滿洲進出は從來上海製品の滿洲進出、自國治安の不備、輸出關稅の高率等の壓迫をうけ印度、南洋等への著しい進出にも拘はらず不振で各方面業者間に遺憾さされてゐたが一昨秋の滿洲事變を機に俄然排日貨の形勢一變し日滿の固き握手——東洋平和の時潮につつて我が產業部門の各方面からの溫かい經濟提携の觸手のもさに林田ゴム工業界は異常な活氣を示してゐる昨秋以來林田ゴム工業界では滿洲に視察員、據員を頻繁に送り神戸林田區若松町一丁目榮ゴム工場が首都新京に分工場を設置するなど敢然滿洲神戸經濟提携の期かな先驅をつけてゐる、つゞいて神樂町一丁目秋々ゴム工場でも過日秋本社長の視察に基づき滿洲國の大阪——奉天に出張所を新設滿洲開拓に乘り出した、外不二見ゴム小林ゴムを前衛に着々具體的な滿洲進出プランを作成して居り今や全林田ゴム工業の關心はこの三、四月ごろ內地需要の閑散期を利用し猛然押し進まんさしてゐるのだ

なほ現在滿洲にあるゴム工場は事變一段落後早くもこの形勢を洞察して進出した朝鮮平壤、京城等の工場の分工場が十四、五あり大連、奉天、安東の各同國要衝に盤居し盛大な動きを見せつつあり林田ゴムの滿洲進出は これ等に異常な影響を與へてゐる

ハイラル 滿洲里でも 日文電報取扱ひ開始

【チチハル十七日發國通】電政管理局ではハイラル、滿洲里居住の日本人の便宜を圖る爲め來る二十日より日文電報の取扱ひを開始する事になつた、全部チチハル中繼であるが非常な便宜が與へられる事になる譯である

山田耕作氏夫妻 露國演奏旅行に出發

【東京十七日發國通】作曲家さして、又指揮者さして有名なる山田耕作氏同夫人は、蘇聯政府當局の招聘によりモスクワへ演奏旅行の途に就いたが、夫妻はホワイト、ロシア、コーカサスの旅行を終へ五月歸國する筈である

南部法電師 夫人

新京祝町本派本願寺主任南部法電師夫人世根子氏は山口縣大津郡仙崎町西覺寺自房で宿痾療養中であつたが十八日病勢革り午前三時遂に死去、葬儀は二十日同地で營まれるさ因に同寺では十八日午後八時から十一時迄檀信徒その他が集つてお夜を營むさ

鮮魚小賣相場

十九日(日)奉天 新京發丘、〇〇レコード

新京後九、二〇演藝
新京後五、四〇講演商務會々頭孫北南
東京後六、〇〇東京中央放送局編輯
新京後六、二〇時事解說(滿洲語)氣象豫報、及滿洲ニユース
新京後七、〇〇ジヤズ新京會館ジヤズバンド
新京七、三〇朝鮮音樂
新京後八、〇〇ニユース(朝鮮語)
新京後八、一五ニユース氣象豫報、放送局編輯プログラム豫告
東京後八、三〇時報
東京後八、三一ニユース東京中央放送局編輯

花街 曙の若丸

萬年娘を御紹介します、さ、云つたらお婆さんになるべき筈であるのにいつまでも若く見へるさいふやうに誤解されるかも知れませんが、決してさうした意味ぢやないんですからそのつもりで、たゞ三年前さちつさも變らないさいふことを云ひたいからだつたのであります

×

若丸姐ちやん、アケボノに來ましたのはたしか一昨年の夏でしたらう、今はあまり派閥しないがその頃新妓あさりにうき身をやつして居りましたアイさんさいふのが、オイ曙に新妓が出たよたしか今日鑑札が下りた筈よ來んでみや、やさいふので、あるさころの一室扇風器 暑さを追ひながらまつてゐた

×

そこへ、長春の人はさんなだらう、安東の人たちよりいゝだらうか、惡いだらうか、などいろんなことを胸に秘めた若丸が顏を現はしました、紹に秋草模樣の涼しさうな衣裳で……その時の若丸さ、今の若丸さ少しも變つて居りません、よつて萬年娘さ申しただけであります

吉凶禍福

十七日は出生死亡の屆出なし

南部法電夫人世根子儀病氣中ノ處十八日午前三時郷里山口縣大津郡仙崎町西覺寺於自房逝去致候ニ付此段御通知申上候

追テ葬儀ハ郷里自房ニ於テ來ル二十日午後三時執行可仕候尚當日二十日午後三時ヨリ當地於西本願寺追悼會執行可仕候間御通知申上候

昭和八年二月十八日

親戚

本派本願寺
同總代世話人一同
同佛教婦人會

凄艶紅涙双

（上方篇）　鈴木彦次郎作　飛鳥久緒畫

（二一〇）

けれど、三浦隊長は、すこしもおそれず、町の中央につと立上り、いま、退き來たつた全軍に向ひ、はじめて胸中の秘策をつけた。

「喜べ、敵はうまく〳〵我術中に陥つたぞ、こゝで我々は、敵を喰ひとめるのぢや、この曲り曲つた町を利用して、眞向に、襲ひかゝつてくる敵を必死となつて防ぐ、だ、もう半時、敵をさゝへれば、彦根に帯陣中の尾州大垣の大軍は敵の後にまはり、やつらを挾撃することができる、いいかたつた半ときだ、全員、死を決して敵を防げッ」

さすが、奇兵隊屈指の勇將むざ〳〵堅壘をすてるとみせたは、果然、巧妙なる作戦だつたのだ。

隊長の凛烈な激勵に、隊士の意氣は天を衝くばかり、各々ここが死場所と、思ひ定めて、町角、路次口、横隔なき要所々々に、陣どつて、寄せくる敵を、決然、食ひとめた。

しかし、市街戦は、長岡勢の望むところ、——首にきこへた大川拔刀隊は、今こそ、我腕を示すときぞと、一齊に刀を抜きはなち面もふらず躍りこむ。

——暫しの間は、兩軍入亂れての、惡戦苦闘、——雄馬は、路次ぐちに身をひそめ、突きすゝんでくる敵兵を、さかんに撃ち止め乍ら甲子松いづこにと、目を見張つてゐるとたん、亂戦のあひだを斷けぬけてきた平岡兵部

「おい、雄馬！喜べ喜べ、われの小天狗はゐるぞ！」

「なに、甲子松が、ど、どの方面にぢや」

「坂下で、激闘中だ、例により君の名をよびながら」

「おう、平岡、忝ない。」

云ふが早いか、脱兎の如く走り出た雄馬、亂戦の間を突きぬけ、くゞりぬけ、坂をめがけて韋駄天走り。

——さ、曲りくねつた街筋第三の町角を、飛びこんで、小さく曲つた一段——これまた泥を蹴散らして飛んできた長軀肥大な武士にいきなりどしんとぶつかつた。

「あッ」

はね返された雄馬、危く踏みとまつた瞬間、相手ははやくも、長劍眞ッ向にふりかぶり、微塵になれと、おどりかゝつてくる。

こやつぞ、牧野藩中でも勇名高き拔刀隊長大川市左衛門——いらつてきりこむ初太刀こそ辛くもひッぱづしたが、つゞく鋭い二の太刀に、雄馬、もはや絶体絶命、やをら、銃を逆に握るや否や、いきなりぶうんと、横にはらへば、パッと飛びちる火花諸共、ぱたりと泥土に落ちた銃と太刀。

しかも、雄馬は、はづみをくらつて、前へ泳ぎ、偶然にも相手の腰にしがみついたからたまらない。

さすがの市左衛門、泡を食つて雨中に棒立ち、——その間に、雄馬は、素ばやく、敵の脇差に手をかけた。

「おッ！」思はぬ奇襲にうろたへた、大川は、力まかせに雄馬の肩さきを突はなして、くるり後を向くなり無中で、傍の路次口に飛びこんだ。

「やい、逃げるか、卑怯ものめまてッ」

絶叫しながら、雄馬は、敵の脇差をふりかざして、どこまでもと追ひかける、——思はぬ幸運で、俄然、形勢が逆轉しただけに、雄馬は、もう無我無中、ただ、ひたむきに追ひすがるのだ。

大川は、切端つまつた、腰には大小とも鞘ばかり。

二月十九日　舊正月廿五日　丙辰　先勝

● 一白の人　人の世話事は斷り得られると丈け斷るが宜し　庚と子と癸が吉
● 二黒の人　多少の骨折はありとも自然の增收あるべし　乙と戊と亥が吉
● 三碧の人　實力を顧みず過大なる事に手を出せば失敗　丙と亥と壬が吉
● 四緑の人　獨斷にて事を處する時は失敗目上に謀る可　丁と壬と癸が吉
● 五黄の人　物事急には運ばざれども末遂ぐる平和の日　甲と乙と亥が吉
● 六白の人　投機業を除きての外の事は見て進んで吉し　乙と庚と丑が吉
● 七赤の人　守るよりも進むを先きにすべき旅行は凶　甲と申と酉が吉
● 八白の人　内輪に事なき様和合を主とすれば吉と成る　乙と戊と寅が吉
● 九紫の人　幸運に向ふ日心圓満なれば尤も早かるべし　丁と亥と壬が吉

大同二年二月十九日　昭和八年二月十九日　第三種郵便物認可

新京日日新聞

定價　一ヶ月金八十錢　一ヶ年金九圓
發行所　新京日日新聞社
發行人　十河米男
編輯人　松本忍二
印刷人　谷啓郎

學力の暴狀つのり我慢が出來ぬ
―われ新事態の責に任ぜず―
滿洲國討熱作戰軍　總司令部發表

熱河平定は本來純然たる國內問題であつた、領域內の反抗分子を鎭壓するのは統治權の發動に過ぎないからだ、只學良正規軍が侵入して來たので

『事態』は稍々面倒となり茲に國家の自衞權を發動せしめんとするに至つたが、これとても單に消極的に我領域內より侵入軍を驅逐せんとするに止まる限り當然の事だ、抑々滿洲國として學良政權の如きは進んで之を倒壞してこそ國家の保全が出來るのであつて彼れが其正規軍數萬を我領域內に進むるが如き暴狀を敢へてする以上、我も又進んで平津地方を衝いて禍根を一掃すべきである、然るに事茲に出でず敢へて兵を

『國境』線に止め國土を恢復し得る限り戰禍を關內に及ぼさざらんとするのは一に事態の無制限的擴大を避けんとする我が方の誠意に基くのである但し敵軍にして若し吾が軍をして國境線たる長城の線を超えざるを得ざるに至らしむるならば、これに依つて生ずる事態に對し我が滿洲國軍は全然其の責に任ぜざるもので、此の場合の責任は一に敵軍自ら之を負ふべきものである。

なほ尙諸『情報』を綜合すれば熱河軍中にも、學良正規軍中にも、義勇軍中にも、既に湯玉麟政權を見限り、且つ日滿連合軍の威容に恐れを爲し或は歸順の意を表明し、或は款を通じて我軍に策應せんとするものが續出する模樣だが、これ等の部隊は一に自己保存の爲め行動するものと謂ふべく、これ等の部隊を以て直ちに滿洲國軍と認め得ない、又此等の部隊が如何に行動するかは目下豫斷を許さぬ次第た、隨つて此等の部隊が

『關內』に歸還するが如きことありとするも、是れ滿洲國の全然關知せざる所であつてこれを以て滿洲國軍の平津侵入と見るが如き錯覺に陷るべきでない、滿洲國軍政部は此の度總長張景惠を總司令とし張海鵬を前敵總司令とする數萬の大軍を擧げて熱河平定に着手するが、治安維持並國土保全に就いて共同責任を分つ日本軍との協同により、最も迅速に作戰を終了し以て內には國礎を固め、外には滿洲國の嚴たる存在を示さんとする次第である

日支問題に對する
―外紙の論調―

―米紙―

△紐育ヘラルドトリビューン　聯盟が熱河攻擊中止を求むるは即ち右攻擊の即時開始を促すことになる、日本軍部は山海關事件に對し一般民衆の比較的冷靜なるを見るや、國論を刺戟する爲め米國が日本の太平洋委任統治を論議してゐる事實を種にし、現に海軍「スポークスマン」は新聞記者に對し日本は世界が何と言ふも委任諸島を保有すべし又日本海軍は米國との意見相違ある際も之を解決するの用意ありと言明した

此の如き態度は直ちに日本の反動的態度の重大意味を諒解し得る日本は一歩退いて和協を計り、一年前の如く世界の輿論に反響を與へんと努力したが、此の目的の爲には十九人委員會は少しも寄與せぬ松岡全權は從前の早熟な要求を時流に照らし讓歩した、この喜ぶべき事に委員會は何等反應を見せざる爲、日本に反動的氣分を惹起した、日本は一應和協に盡力したから此點有利な立場にある、東洋平和の爲米國の言論が注意して日本海軍を刺戟するやうな愚をしてはいかぬ

△「モニター」（八日）　最近論議される亞細亞モンロー主義を日本人は同地方に於ける排他的警察權と解するが米國のモンロー主義はルーベンクラーク大使の報告せる如く元來「アメリカ」對「ラテンアメリカ」の問題でなく「アメリカ」に對する事が出來ない、且聯盟から

△紐育タイムス（十一日）　聯盟に於ける滿洲問題に關し十日國務長官は該問題を聯盟が處理し居る間は之を論議する事が出來ない、且聯盟から得ざれば如何なる宣傳文字も其目的を遂し得ぬ旨

最近滿洲國外交部發表の建國宣言によれば、德と仁を基礎とする王道政治を行はんとする由、之を以て世界の承認を得ざれば……

十九人委員會の滿洲國不承認若くは不協調の勸告は米國政策を裏書せるもの、又露支國交回復は日本の一痛手だ

△紐育サン（十日）　戰條約は空文に終る如き領土の變更を認むれば不

「リカ」對歐洲の問題に關するものだ

米國は嘗て同主義により中米地方に警察權を行使したが、平和組織の確立せる今日日本か米國の過去政策を履行するは間違つてゐる、現に米國は「ニカラガ」より撤兵した、日本も之に倣ふべきである

△イヴニングポスト（九日）　十九人委員會の滿洲國不承認政策は米國の希望を達しくれ併せて米國獨り日本非難の急先鋒でない事を立證した

滿洲國承認不承認は國際法上議論あるべきも萬一滿洲國の

―佛紙―

しながら何等目的を遂し得ず此不安不滿が今回ジユネーヴに於て現れたと觀察するのが妥當だ

△タン（十三日）　若し勸告案が十三日採擇されば愈々聯盟と日本が離反することになるし、日本は脫退して自由を得るが、政治的經濟的に全然孤立に陷るの不利がある、他方大國が日本を失ふは、米露が聯盟外に在るに鑑み聯盟の世界性に對する大打擊だ十二日のエキセルシオアールは支那は聯盟に於て完全なる勝利を博し日本の脫退近しとなし十三日の「ユーマニテ」聯盟は日本を侵略者と決定するのは良いか交涉委員會の任務に期限の定めなき爲日本は依然軍事行動を續けるであらうと不滿を漏らしてゐる

……も受けて居たと語り次でジユネーヴに於ける英國の態度は米、政府に於て約六週間前に漸次變化の途をたどれる事判明したが、今回轉府で英國の强硬論は右の變化が最高潮に達したものと考へ、戰債問題とは關係ないと言つて居ると報じ、支那は英國を「ブロジヤパニーズ」と非難する聲が高いが、濠洲、カナダは是を心配し英本國へ壓力を加へた、山海關占領當時北支の脅威を感じたる英國は大使「リンドレイ」をして再三內田外相を訪問せしめ、北支の英國利權が害されざる事を希望

滿洲國の軍旗
威風堂々たる
考案出來て近く注文

滿洲國軍政部ではかねてより軍旗を考案中であつたが此程漸く決定され近く東京方面に注文する事となつた、同軍旗は向つて右上隅を長方形に白にし殘りの部分は國旗と同樣赤、藍、白、黑、黃の五色の縞となつて居り威風堂々なか〳〵立派なものである

熱河討伐軍總司令部編成
滿洲國で正式發表

滿洲國政府に於ては熱河の形勢に鑑み匪賊討伐軍を組織する事となり豫て討熱作戰軍總司令部を編成中であつたが本十八日附を以て正式發表があつた、なほ編成の內容に就いては近く發表を見る筈である

錦州の近狀
中根氏語る

錦州日本領事館開設當時より在勤中なりし中根氏は今回天津へ轉勤を拜命、其途次に在るが十八日朝着京、往訪の記者に錦州の狀況を左の如く語る

錦州に戰雲が低迷してゐるのは言を要せぬ狀態だが、いづれ展開されても長城迄は頑強な抗戰はないかも知れぬ、今のところ治安は比較的保たれ邦人も其の業を營むに支障がない、昭和七年六月開校當時の日本人小學校生徒數は僅かに十四名だつたが現在は八十三名を數ふるに至つた

なほ後任は在天津副領事後藤氏であると

熱河討伐で外、陸兩相語る

〔東京十八日發國通〕閣議散會後、荒木陸相は語る

各閣僚と二三の質問をなしたのみで今後二三回開會されやうが規定方針には變更は無い、即ち聯盟を脫退し熱河を討伐するに各閣僚も別に異存は無く、擧國一致だ

閣議散會後、內田外相は語る

勸告案への政府の立場を報告し意見を求めたが規定方針は何等變らず、又變り樣が無い最後態度は熱河の上自主的に決定される何事も斷の一字があるのみだ

脫退の何のと狼狽して居るのは見苦しい

今更狼狽は見苦しい
鈴木正友總裁語る

〔東京十八日發國通〕昨日の緊急閣議後鳩山文相の報告を受けた鈴木政友會總裁は次の如く語る

事態は今後の千圓國に來た譯ではなく、最後の態度をきめ樣もない、近來無暗に

內田、幣原兩氏の會談

〔東京十八日發國通〕內田外相は本日午後三時參內の上、勸告案に關して內奏申上げ、四時半の閣議前に幣原前外相と重要會談を遂げた

大同電力の外債買人

〔東京十八日發國通〕大同電力は電力外債買入れに付き大藏省等へ運動してゐたが、政府當局に意思無きを見てとり方向を轉換して市價低落に在る在外々債の買入計畫を立て大藏、遞信、日銀各當局に對し買入資金の爲替送金方に付き特別の認可を求めてゐる

熱河方面へ青山記者を特派す

熱河方面の風雲いよ〳〵急なるものがあり、わが社では同地方視察のため記者青山一雄氏を特派することゝした、同氏は昨十八日夜十時新京發列車で出發した同記者の通信は必ずや一般讀者各位の御期待に添ふものがあるであらう

赤露の暴動說
露國當局否認
ハルピン總領事館で語る

〔ハルピン十八日發國通〕最近當地の露字新聞やベルリン、パリ等で發行の露西亞新聞がシベリア通過旅客その他の情報により、ソヴエツトでは、殊にシベリアに反政府暴動の

『勃發』說が宣傳されてゐるが當地ソヴイエツト總領事館代表者は次の如く之を否定した此說の事實無根である事は最初シベリアの暴動說を傳へたパリ發行アラヂエル紙の報道を同じ方面で發行のポスレエドニノウオスチ紙が否認した事でも明かだ、又シベリアを通つて來た旅客もそんな印象を受けなかつたと言つてゐる、こんな風說が根據と思はれるのはソヴイエツト政府が公然發表し實行して居るやうに五ケ年

『計畫』による階級のない社會を建設する爲に唯一の殘されたブルジヨア階級が死者狂ひに反對する場合、政府は決定的に彈壓を加へ根滅を計つてゐる事實を捉へて根據としたものであらうが之は資本主義國家が共產黨に對し決定的彈壓策をとると同樣で內亂暴動といはれるべきものでない、また最近になつてやかましく內亂說を傳へるのは、白系ロシア人が反ソヴイエート分子と連絡し現下國際政情の複雜性を利用して好戰分子を誘ひ出し、討蘇戰爭を勃發させやうとの企圖に基いた宣傳だと思はれる

『恰も』一九一九年露支紛爭の直前、白系ロシア人が最近と同樣シベリヤ極東露領の內亂暴動說を傳へ、好戰漢學良をして此際ソヴイエートに對し攻勢に出しもソヴイエートは手も出ないと信ぜしめ東支鐵道を奪取せんとして失敗させたと同じである

大每取締役會長制度に

大阪每日新聞社は定款を改め社長副社長制を廢し取締役會長を置くこととなり互選の結果專務取締役城戶元亮氏が當選就任した旨案內があつた

經理部主催建築打合せ會
建築時期其他協議

旣報十七日午後一時より大和ホテルで開催された關東軍經理部主催の建築打合會には關東軍經理部長、和田主計正、杉浦主計正、特務部より竹內囑託、小池囑託、滿鐵より植木工事課長、增田地方係長、關東廳原土木主事、高山署長、滿洲國側の國都建設局結城淸太郎氏、草地土地課長等主席

一、本年度の建築時期の統制
二、材料、勞力、運搬、の經濟的獲得方法
三、請負人の聯絡牽制を行ふ事等

を審議し滿場異議なく可決、本月末迄に第二回建築打合會を開催、その折右各項の實行方法案を持寄り協議する事を決議し散會した

中銀紙幣每週平均額

滿洲中央銀行の去る一月二十七日より二月二日までの紙幣發行額は左の通り

發行額　一五四、六五六、〇五〇圓
準備　八八、〇一九、九六三
保證　六六、六三六、〇八六

十七日發送貨物

△新京
大豆　三九〇
高粱　一〇

氣溫と天氣

十九日の天氣西の風晴、十八日の氣溫最高一〇度七、最低二四度

鮮魚小賣相場

品名	値	品名	値
活鯛	六〇	氷鯛	一三三
チヌ鯛	三二〇	アマ鯛	一三九
マグロ	一〇〇〇	ブリ	六〇
ヒラス	三〇	サハラ	二六
サバ	一三	アヂ	一八
カレイ	八	ヒラメ	一五
ボラ	二六	コチ	一三
キス	一三	イワシ	六
マナカツオ	二八四	オコゼ	二〇
ムツ	一三	サヨリ	五三
タコ	二六	甲イカ	二五
水イカ	三三	イセエビ	一六
クルマエビ	一七八	コエビ	四〇
アナゴ	一九	ナマコ	二五
アワビ	四〇	カキ	三一
カマボコ	一三〇	チクワ	一〇
赤生子	二四〇	コブ	三
レビ引身	一二六五		

人事往來

▲松木〇〇國一十八日正午飛行機にてハルピンへ
▲高橋貫一氏（北滿電機專務）一八日午前八時四十分ハルピンへ

新刊紹介

△堂島米報（二月號）米況概觀、正米市況、大阪に於ける米穀事情、各地通信その他
△日本童謠協會雜誌（第一丁目大阪堂米會通一回發行大阪たる）ケ月一回發行
野口雨情、山田耕作、西條八十、中山晉平の問の新界の好侶伴東京川口八日本童謠協會

△中東聯絡　大豆 二一〇　豆粕 二四七　雜穀 二六七　木材 六四　其他 五二　計 一、三五四
△吉長連絡　大豆 一、六七〇　雜穀 五五　其他 四〇　計 一、七六五
右總計 四、五七六
「新京國通」

經濟欄

海外經濟

▲銀塊及爲替
倫敦銀塊 一六片一六分ノ三
紐育銀塊 二六仙八分ノ一
米英爲替 三弗四仙一六分ノ三
米日爲替 二〇弗八分ノ七
米支爲替 三〇弗四分ノ三
スチール株 二七弗八分ノ一
アナゴンダ株 六弗八分ノ五

▲米綿花
現物 六仙 一五
三月限 六仙 〇〇
五月限 六仙 一三
七月限 六仙 三五
十月限 六仙 四五
十二月限 六仙 五五
一月限 六仙 六五
ベンゴール 一〇五留比

各地市場

▲上海標金
▲上海日本向
▲上海倫敦向
▲上海紐育向
▲大連鈔票
▲大連上海向
▲大連煙台向
▲阪神日米爲替
▲阪神日英爲替
▲大坂株式　大株　一〇一〇〇　一〇〇〇〇
▲同短期
▲大連株式
▲大阪三品
▲大阪綿花
▲大阪期米
▲仁川期米
▲神戶豆粕
▲橫濱生糸
▲大連特產
▲哈爾賓特產
▲カルカツタ麻袋
▲大連麻袋

新京市況

大豆 現物 三三五〇　出來高一六車
高粱 不出來
小豆 不出來
錢鈔
現物
國幣對金票 一〇〇〇〇
大洋對金票 一〇〇〇〇
大洋對鈔票 九七〇〇

火花を散らす 大接戰に觀衆は熱狂

きのふ室町校庭と西公園で 最初の合同体育會

小國兒童の健康については各學校共に頭を惱ましあらゆる方法をもつて

=向上=

策を講じてゐるがその一つとして十八日新京室町西廣場四平街、公主嶺の四校は第一回合同体育會を室町校々庭で開催した、この日午前十時一同二百五十名の生徒は校旗を先頭にこの酷寒も何のその元氣な足取りも勇しく入場その周圍には新京特別市馬學務課長を初め日滿体育關係者及

=附屬=

地内外中等學校小學校の各先生方が居並び間瀬訓導の號令で形の如き式を終り直に演技に移り火花が散す大接戰の幾多場面を轉廻し、午後四時十分盛會裡に終了した、なほ當日の成績は左の通りである

一、ドッヂボール
一等 室町 三戰三勝
二等 公主嶺 三戰二勝
三等 四平街 三戰一勝
四等 南廣場 三戰三敗

二、スケート
一、男子千五百米
一等 高橋（室）二等廣本（室）三等大本（室）

二、女子五百米
一等 財門（室）二等今村（室）三等鹿野（西廣）

三、男子五百米
一等 大谷（室）二等中村（西廣）三等松田（室）

四、女子リレー
一等 室町校 二等西廣場校、三等四平街校

、男子リレー
一等 室町組 二等西廣場校、三等室町組

強盗の瀕出で 南嶺に派出所設置か

多分本年度實現せん

南嶺街道に連續的に滿洲國軍隊の制服制帽を着した拳銃強盗團が出沒し通行人はもとより南嶺附近居住の邦人は益々恐怖に襲はれ、身に危險を感じてゐるが、邦人は日夜これが防止方法につき協議を重ねた、未南嶺に警察官派出所を設置するが何よりの急務であるとし新京總領事館に設置方を嘆願して來た、目下同館でも考究中であるが多分八年度の豫算に計上される模樣である

爭奪戰から 愛の巢へ轉換

元幾代の石川シゲ姐さん お芽出たのはなし

嫁にやつた、はずの藝妓が新京で藝妓稼をなしてゐるとて元抱主市内五馬路料亭、三杉き、日本橋通料亭イク代が一人の藝妓を繞つて爭奪戰を捲き起した末警察沙汰となつたが、キ役イク代抱へ藝妓石川シゲ（一八）は警察署の御世話で料亭八千代に預けることになつてゐたところ、同人の身元調査の結果、生立が立派で且つ性質も温厚なるため八千代館主瀧竹三郎氏は知人である善生堂妻河野スイさんに總べてを話した處、非常に同情して良い男があれば自分が落籍して結婚させるとて男を物色中料亭曙コツク、山口能雄（三一）は性質温厚なるため同人に進めた同人も乘氣になり結婚を承諾し、山口は前借九百圓をあつさり投出し、樂しいスイートホームを送ることになつた

弱い者には入學させない

帝大、入學に新方針 不良生は大痛ごと

〔東京十八日發〕帝大入學試驗のトップを切る東大の入學試驗は十五日で願書を締切つていよいよ來月十五日から開始されるので全國二十二校五千數百人の高等學校卒業生は試驗勉強で青息吐息の有樣で今年も猛烈な競爭が行はれる模樣だが特に今年からは各學部とも全部嚴重な體格檢查を行ふことに決定した、中でも工、醫の兩學部は採點して學科點數の一部に加へるので油斷はならぬ、最も吟味するのは性病と呼吸器病、性病は高等學校の入學試驗でも喧しく檢查されるが高校生活三ケ年の間にすつかり性病の洗禮を受ける者もあり殊に學生診療所に來た學生の中の半數が性病患者であつたといふ名代の帝大もあるので既徒症は別として現在かゝつてゐる生々しいのは入學お斷りといふことになつた

新京署内 榮轉のよろこび

高橋さんは范家屯署長に 千葉高等主任もかはる

「御榮轉を祝す」の飛電に新京署は時ならぬ大騒ぎ、數日前から下馬評はあつたが確定してはなかつた十七日午後四時、關東廳から正式發表が來た。人情味のたつぷりした高橋警務主任は范家屯署長に榮轉、千葉高等主任は撫順、へ榮轉、原田警部補は范家屯へ榮轉なほ後任は范家屯署長今村警部（營口）と決定した

移民團に慰問品を贈る

佳木斯移民團の將來に對しては同胞の均しく關心を期待を持つて居るが最近大連婦人聯合會では同團に對し菓子、煙草雜誌その他の娯樂品を取揃へ慰問品として送るべく農事協會を通じ永井民政署長の手に申出でた

彼女のサービスはどんなもの？

受付は女事務にしたらと 新京局、頭を捻る

新京郵便局では最近の著しい人口の膨脹に伴つて利用者も日毎に激增し千客萬來の繁榮を築いてゐる狀態で現在の男事務員では、とかく爭論を惹起し易く客に不快の念を與へる事多大なるものがあるので同局では利用者へのサービスとして接客に柔かく好感を與へる女事務に替えてはとの議起り、種々考究中で近く實現するものと見られてゐる

幼き入學希望者が 押すなくの大盛況

新京公學堂の受付締切り 當局でも面喰ふ

新京公學堂の今春卒業生は四十四名でこの内上級學校を志望して居る者二十名、他は殆んど就職希望者ばかりで既に確定したのが滿洲國十七名、實業銀行一名、中央銀行三名、朝鮮銀行一名である、なほ四月の新入學者は十八日の締切り現在で三百五十名の多數に達し同校の現狀では定員百二十名である爲過半數は入學不可能に陷る譯で、當局は對策につき種々考究されてゐるが今年度は取敢ず定員を二組に分けて受付ける方針であると

トロヤノフスキー氏夫妻歸國

〔東京十八日發國通〕駐日露國大使トロヤノフスキー氏夫妻は十七日午後九時二十五分東京驛發歸國の途に就いたが同氏は多方面に亘る趣味の人であつた關係から見送人が頗る多く、プラツトホームに並んだ約二百名の見送人達は外務關係の人はもとより首相夫人も見送り、大使と親交ある廣田駐露大使や政界、學界、文壇、劇團等各方面知名の士の顔が見えた

中央委員會の準備

來る三月一日の建國周年記念日を目捷に控え中央委員會では積極的に且つ準備を進めてをる、奉天、吉林、黑龍江、興安諸省では省當局、新京では市政公署が中心となり、同日全國一齊に盛大なる慶祝典禮を擧行することになり、中央委員會では既に國旗六十萬、國歌六萬五千、建國宣言一萬、執政致書一萬、總理訓辭一萬、宣傳ポスター二十萬、傳單六十萬を作製し之を全地各地に配布すべく國旗は既にその作製を終へ各地に向け發送しをる

佳木斯移民團に最初の犧牲者

兵匪つひに潰走す

佳木斯移民團の先遣隊は豫定の移住地永豐鎭に前進し、十五日拂曉吉林軍と聯合して虎力河附近の兵匪を攻擊、激戰二時間にして、蛇腰子を占領した此の戰鬪にて福島縣出身の移民渡邊熊治氏は頭部に貫通銃創を負ひ名譽の戰死を遂げた、此の貴重な最初の犧牲者によつて移民團の士氣は益々揚り決心の臍を固めた

雜巾を賣つた金を同情週間へ寄附

修養團婦人部の美擧

修養團新京支部婦人部白百合會では協和會主催に賛助し金十圓を寄附したが右は同會員が雜巾を作つて賣つた零細な金の內から割いて醵出したもので滿洲國人の貧困者に温いお粥の一杯でも慰むるとなればしあはせであるとの申込みに協和會當事者に感激して之を受けた

同情週間寄附者芳名

新京市商會四十圓、賓發豐二元、匯源長二圓、錦秀三先生六圓、賓泰昌二圓、東順昌二圓、史煥亭先生六圓、永豐興四圓、義台公四圓、永衡德六圓、楊連芳先生四圓、田新吾先生四圓、老天台二圓、永衡茂一圓、順德號二圓、益成堂先生四圓、世一堂二圓、源昌號一圓、中央銀行十圓、天錫昌二圓、玉茗魁四圓、洪利號二圓、中〇銀行一圓、女〇銀行十圓、裕成東二圓、世興公店一圓、德盛興行一圓、裕生源一圓、益發銀行十圓、勤華堂店二圓、金融銀行十圓、湧聚號一圓、鴻興金店一圓、功成玉一圓、大合慶二圓、長升號一圓、會合公新記一圓、風順號一圓、協和商場一圓、慶豐錢々一圓、巨興號一圓、義和謙二圓、裕昌一圓、修養團白百合會一圓、晋興洋行四圓、新京日日新聞社二十圓、大同報社一圓、藤井大五圓

名士と趣味〔7〕 蒐集

關東軍獸醫部長 渡邊中氏

□……關東軍獸醫部長渡邊中氏は繪葉書印紙その他スタンプなどについて極めて熱心な蒐集家である、その方面の造詣もなかなか深いものがある殊にお職掌柄、馬についてのそれは全く他の追隨を許さぬものであり、誰しも一驚を喫せない者はない世界各國の各種各樣の馬は殘らず網羅されてある、その種類は二百種以上にも及んでゐるが、先日もハルビン旅行の際にも [illegible] 繪葉書を到るところ漁り歩いて漸く五、六百枚を物にしたといふ、その熱心振りの一端が窺はれるであらう

□……渡邊さんの話によると日本人は余り家畜に興味を持たないが、歐洲人はよく家畜を愛し、從つていろいろ變つた家畜に關する文獻が多いさうだ、由來馬は縁起にかつがれ、例へば蹄鐵を拾へば幸福が得られるといふなどその一例で [illegible] 堂といはれるものもあるのも同樣の意味から來た芽出度いものだといふ。氏は馬について犬の研究もなかなか大したもので、從つて犬に關するものも隨分澤山あるかなほそれらと共に世界各國の印紙も蒐めてゐるのも驚くばかりでこれを各國別にして既に百四十三國にも及んでゐる

□……これらの蒐集品中には隨分高價なものがありわが日本のものでも明治初年のもので一枚三四百圓もするのがあるさうだ、帝政ロシヤ時代のものに變つたものが多く、ギリシヤ、トルコ、アメリカ諸國その他數多い中にもその國々の特異性が現はれ、これを美術的に見てフランス、イタリーの如き、さすが世界の美術國として誇るだけに [illegible] なものがある。日本のそれは恰も日の丸の國旗のやうに、極めてあつさりしてゐるのも日本特有の意匠として見逃すわけにゆかない

□……渡邊氏はこれらを成るべく子供さん達の手で蒐集させ、整理させてゐるさうだ、それは子供達の地理歷史の教材として此上ない結構なもので片方に地圖をかゝげてその國の興亡の跡を訪ねるのも誠に愉快なものであり是非一般家庭にもお勸めしたいといつてゐる、幼年の頃からかうした高尚な趣味に生きる一方、それが兒童教育の一助ともなれば正に一擧兩得ともいふべきであらう、氏に代つて切に一般の愛好をおすゝめしたい

日の出の集ひ

十九日朝西公園で日の出を拜する集いは午前五時五十分から開催されるはず

▲新富の小萬さんのお口は木ウソウ館であります時々刻々としてあらゆるニユースが口角から飛出しますがそのニユースたるや……どうも頭のピントが狂つてゐるらし▲精養軒のタエ子近頃馬鹿に悲歎してゐますネ その原因は……▲同じく文子ホーさんとの仲はどうです圓滿ですかナ▲同雪子おばさん置きても朗らですさては！……がいたらしい▲三笠のトシ子最近見違る程オトナになつて來たが何故でせうそれは？

婦人と家庭

あなたのお子さんは鳩胸ではありませんか

虚弱なのはそのせいです

文部省體育研究所技師醫學博士 吉田章信氏談

鳩胸は佝僂病の一つの現れで虚弱兒童に多い。その割合をこゝの體育研究所で代々幡町小學兒童について調査したところ、標準體重よりも體重が不足してゐる子供の中で、男兒十六パーセント、女兒十パーセントまでが鳩胸であつたこれを地方的に見ると、一名イギリス病といはれてゐるやうに、霧が多くて日光の不足してゐるイギリスやスカンヂナビヤ方面に多いし、我が國では

富山縣に 一番多いといふわけで、熱帶國や紫外線の多い高原地方にはない病氣である。これの原因は身體内にカルシユームが少いため骨が柔かいところから來てゐる。元來丈夫な子ではカルシユーム分が骨の日方の三分の二位あるものだが、鳩胸になる子はそれも少くて丈夫な子の半分位の場合もある。從つて骨組がコンクリートでないわけである

鳩胸その ものは何も心配はないがこの質の子は

1、腸カタル、結核肺炎になり易い

2、バクテリヤに對する抵抗力が弱く殊に呼吸器病にかゝり易い

3、貧血的で元氣がない

4、齒が惡くなりヒキツケも多い

5、お腹をこはし易い

6、背骨がゆがんだり足の骨がゆがんだりして來るといふことがあるから、さうならぬ中に治す必要がある。

食物と日光に注意すれば治る

虚弱兒から健康兒への日常生活五則

これを治すには食物と日光とに注意すれば決して困難ではない、即ち常に母親が氣をつけて胃腸を丈夫にしてやる、そしてカルシユームを澤山含んでゐるものを與へるやうにする。リン酸カルシユーム（藥局で賣つてゐる）といふ藥をやることもあるが成るべく食物からの方がよい

どんな食物 がカルシユームを含んでゐるかといふと

動物性では牛乳、チーズ、ウナギ、サケ、ニシン、イワシ鮎、フナ、ハゼ、アミなどにあるし、それから小魚を燒いて骨ごと食べさせるのもよい、同時に頭まで食べる習慣をつけるがよい。植物性では野菜、殊にキャベツカブラ、白ゴマ、コンブ、青ノリその他の海藻類に多い、リンをとるには肝油に限つたものはないが牛乳、イワシ、大豆、黑ゴマ、人參、チーズ、鷄卵にも澤山ある。次にあまり甘いものを與へぬ方がよい。與へ過ぎると體内に乳酸が出來るので、これがカルシユームをとかし體外へ出してしまふからである。右の外

重要な注意 を數へて見ると

一、充分に日光に當らせねばならぬカルシユームを攝取しても日光が不足するとそのカルシユームが身體の成分にならずに終る。即ちカルシユームを同化するヴイタミンが出來ないからである。

二、故に天氣のいゝ日は出來るだけ戸外で遊ばせるのがよい。

三、小住宅の入りこんでる所では一日中、日が當らぬといふ場所もある。從つてそこには鳩胸の虚弱兒が多いさういふ所では學校の庭へでもやつて日光に當らせるがよい。

四、胸廓を廣げるやうな胸の運動もよい。

五、深呼吸の運動もよい。しかしこれ等の運動はあまり強くさせてはいけない。

以上の諸項に注意すれば年を重ねるとともに、だんだん鳩胸もなほり骨組もしつかりして來て、心配された虚弱兒もだんだん健康兒になるのである

老人に新湯はなぜ毒か？

……老……人が沸き立ての新しい湯に入るのは毒だとは昔から云はれてゐますがさてそれを科學的にみて、どんなよくない事があるでせうこれは多年の經驗上、いつかさういふ事が云はれる様になつたものでせうが、これを科學的に觀ても立派に實證されるのです。新しい湯と、既に人の入つた後の風呂とを比べてみますと、新しい湯の方が同じ温度であつても

……刺……戟が強いのです。古い湯には、人の皮膚から出た脂肪や、蛋白が湯の中に出てゐますからその中に入ると、脂肪や蛋白が體を覆つてくれますので新しい湯の様に直接強い刺戟がないのです。ですから老人の様に體の老いた人とか、虚弱な人がさういふ新しい刺戟の強い湯に入つて腦溢血や腦貧血を起す事になるのです。尤に、病人とか、或は贅をつくす人が牛乳風呂に入つて

……非……常に心持が好いといふのも同じ理由で、牛乳中の蛋白や脂肪のために刺戟が直接ないからそれで氣持がよいのです。その他處女の入つた後の風呂に入ると若返るとか、體の調子がよいとかいはれるのも同じ意味の事がいへるのではありますまいか。そして又、湯を初めにかきまぜるのも

……熱……い處と冷たい處とを等分にするためもあるでせうが、今一つは新しい湯の中の刺戟をあたへる成分を發散させるためであると考へられます

お乳の消化する時間

御存じですか

□乳の消化時間は、母乳は一時間半、牛乳は三時間とされてゐます。ですから次回の哺乳は母乳の場合には二時間以上、牛乳の場合は三時間半以上を經てから、與へねばなりません

□先づ哺乳時は、一般に生後一ケ月間は三時間をおく事、二ケ月以後は四時間をおく事そして與へる時間は、約十五分乃至二十分が、よいとされてゐますが、十五分哺乳として五分で前後三回にわけて、その哺乳量を比較すれば、前六十パーセント、中三十パーセント、後十パーセントの平均です

□これから見ますと最初の五分間に、約半分以上をとるのですから、一回の哺乳時間は、二十分より十五分の方をとる方がよろしい

時局後援會寄附者（七）

二圓鯛原尹守、同永江七郎、同田中敬吉、同三浦錫次郎、同森山弘一、同久野源九郎、同今井忠四郎、同岩堀外吉、同尾崎安松、同吉村元七郎、同坂根福太郎、同加藤義雄、同寄藤正巳、同松永千太郎、同西川ハナ、同長田、同野又良吉、同中島藤吉、同澤井松太郎、同川合三郎、同廣橋伴太郎、同永吉淳、同梅木高喜、同松永光太郎、同窪出新太郎、同窪田村芳、同鵜殿新十郎、同吉田三藏、同佐藤宇治太郎、同佐藤時計店、同濱田キリ、同三好さ利、同黑木與三、同中村吉五尚、同島松商店、同福永正尚、同關利助、同峰ト一郎、同村松德平、同大隈孝太郎、同吉川ボ子、同小野池芳三、同櫻井ツネ、同松本忠廣、同植木辰三郎、尼迫末弘、同□順公司、一圓五十錢鐘先きん、一圓岩淵壽男、同島村志賀吉、同大久保ヨシヱ、同岡本捨吉、同深谷直次郎、同河崎繁次郎、同吉田光、同厚木德一郎、同藤村要助、同長田三作、同岡村□吉、同猪口賀重、同北河貞藏、同大塚宜二、同中谷源兵、同梅崎正雄、同新内順吾、同日下次郎、同原田マツ、同黑田留吉、同井上清弘、同中村幸雄、同三浦知二郎、同井上包清、同武井四郎、同小野秀、同丸山義一、同泉廉治、同戸田組、同柴田良造、同成澤文壽、同尾野四郎、同吉澤志德、同高山組支店、同藤井益雄、同坂口清治、同牛島保、同大西ミチ、同大川宇一、同木村貞次郎、同鳩崎昇、同岡本正德、同大野惠務、同廣津藤一、同福家、同田森傍市、同竹下作一、同帶刀濱、同成田榮、同目島清、同荒木健一、同潮谷ツネ、同平田龜次郎、同石田善作、同兒令丸、同鎌田源吉、同大草森一、同出田章、同矢野男秋、同福崎一、同手塚倉吉、同九井源一、同細田ミヨ、同稻力雄、同羽田地利一、同鳥瀧ツヤ、同巻柄ヨシ、同金光昇之助、同牛野喜三郎、同永末龍助、同山本ハツ、五十錢宇郎キヨ、同福濱七郎、同秀島俊一、同十時元付

變幻黒船往來

（作）寺島柾史　（畫）布施長春

第二十六回　美女誘かい（三）

典膳に老巧な術策あるとも知らず、藤太もまた、白軒の名を餌に、楽園を異人たちの手中から誘き出さうといふことに、香盤のあらうはずがない。

『なるほど、そんな計略ですかい。つまり、女を紅額たちから奪ひ還し、それをとりにして白軒を誘き出し、うまく生捕にしようといふ寸法ですね』

『いかにも』

典膳は、空うそぶいた。

『さすがは、笑浦の旦那だ。よいところへ氣がついた。あの女をこのまま放つておいてみなされ。フランスの紅額たちのいい弄みものになるばかりですよ。……あの女をフランスの奴原に奪はれてしまふくらゐなら、おいらア、江戸からこの地まで流れて來やしねえ』

『おう、そちまでが、女に執心かい』

典膳は、意味あり氣に笑つた。

『そりア、旦那だつて、あの女を一目みりア、ぞつこん參つてしまふでせうよ』

『うむ、それほどの女か……女ひでりのこの蝦夷地で、みんな女にあやかるばかりでも、ありがたいのう。どうぢや藤太』

『ほうら、みなされ、乾の旦那だつて……』

『へへへ、ところで、藤太』

『へえ』

『その女を、いつ誘き出すな？』

典膳は、すこぶる事務的だ。

『はて、……では旦那、善は急げで今夜うまくつれ出しませう。どこぞで待合せませうか』

『よろしい。今夜、戌の刻。この山手八幡宮の境內で、ひそかに會はう』

『ようがす。こちらは紅額とわつち、旦那の方では、笑浦さまも御一緒で？』

『いや、笑浦氏は、たうてい外出ならねだらう。拙者やはり代人をつとめるわ』

こんな約束が出來あがつた。典膳までが大切な役目を棒に振る覺悟……。

『では旦那、戌の刻にまちがひなく……』

『うむ、きつと女を連れて參れよ』

典膳は、念を押してそのまま異人館を離れた。棒の木につないである馬の手綱を解き、ひらりとそれへまたがつたが、そのまま馬頭を南方へ向け、脚下にギラギラ輝く海光をあびながら、何ごともなく立去つた。

戌の刻限……。

先夜と同じく月は、はや中央にかかつてゐるが、一向にその餘澤を蒙らぬらしく、八幡宮境內は暗く、しいんとしてゐた。このあたりは、蝦夷地には珍らしく、內地流に松の木立がこんもり繁つて物凄いくらゐ……。

その暗やみの境內に、急坂をあへぎながらのぼつてくる者がある。

それが、やつと坂を登り切つてほつと一息いれたころ、こんどは神殿近くの杉の大樹のかげから、のつそり現はれた者があつた。

ふたりは、互に警戒しつつ相寄つた。

『こりや、そちは藤太か』

さいしよに聲をかけたのが典膳だ。どこへ馬を棄てたのか、徒足だ。

『おゝ、乾の旦那ですかい。待つてましたよ』

暗やみでも、その聲は藤太にまちがひはない。

『藤太、女は？』

『ところが、……旦那畜生は、たうとう今夜は、歸りません』

『なに！歸らぬ？』

乾の聲は、荒々しかつた。

『へえ、軍艦で隊長と、しんねこをきめてやがらア』

藤太は、いまいましさうに、舌打ちした。

やゝ暫らく、暗やみの中に聲がなかつた。